

著者に聞く

弁護士、
ビジネスコーチ



波戸岡 光太氏

(はとおか・こうた) 日本を支える中小企業とビジネスパーソンをもちたてるパートナーとして、法的アドバイス、契約交渉、労務問題の予防・解決を中心に活動。クライアント企業は、IT、不動産、飲食、機械製造、教育事業など幅広い分野に及び、これまでの法律相談数は1000件を超える。ビジネスコーチングスキルも兼ね備え、依頼者と伴走し解決を目指す取り組みは、多くの経営者から高い評価を得ている。

弁護士でビジネスコーチの波戸岡光太氏の著書『ハラスメント防止と社内コミュニケーション』(生産性労働情報センター刊)は、生産性新聞の連載「ハラスメントとコミュニケーション」(2023年3月〜9月)をベースに書籍化された。波戸岡氏は、ハラスメントの防止には、ハラスメントを正しく理解し、上手なコミュニケーションがとれるようになることが重要であり、コミュニケーション力は、学習して身につけることができることを強調する。

ハラスメント防止と社内コミュニケーション

誰もが安心して働ける職場を目指して

コミュニケーション力を高めることで、ハラスメントが防止され、生産性向上へと繋がる。

公益財団法人 日本生産性本部 生産性労働情報センター

相手を正しく理解し、良好な人間関係構築を

(2025年4月、生産性労働情報センター刊)

書籍担当編集者から一言
ハラスメントが起きてしまう背景には、多くの場合、「コミュニケーションの問題」があります。企業の顧問弁護士として数多くのハラスメントの問題に向き合う著者が、ハラスメントを防ぐための考え方や具体的なコミュニケーション技術、実際の職場での対応方法について、紹介しています。

「ダメ」と論じるだけでなく、「ではどうすればよいのか」という視点を大切にしています。なぜなら単にこれはハラスメントだからNG、「これは大丈夫」と線引きするのはなく、そこから先のコミュニケーションをどのようになるかが重要だからです。特に白黒がはっきりつかないときや判断が難しい場面では、「グレーだからやめておこう」と考えるのではなく、「もっと良いコミュニケーション方法があるのではないか」というような伝え方をすれば効果的なのだろうか」と半歩先を考え、実践していくことが必要です。それが、皆さんが本場に知りた

人に受け取ってもらえること、身につけたいことなのではないでしょうか。パワハラを防ぐコミュニケーション
コミュニケーションスキルは、自然と身につくものではなく、学ぶことで誰でも身につけられます。コミュニケーションの第一歩は相手の話を「最後まで聴く」ことです。人は「自分の話を最後まで聴いてほしい」という根源的な欲求があり、話を途中で遮られると強いストレスを感じます。だから、相手の話を最後まで聴いたうえで、まずは「なるほど」と「確かに」と受け入れ、その後で「話していいですか」と提案しましょう。「聞く」ことは誰にもできませんが、「聴く」(積極的に耳を傾ける)ことは実はなかなか難しいのです。

信頼関係を築くために必要なこと
話をしっかり聴いてもらえた相手は、「あの人は自分の話を聴いてくれる(承認欲求を満たす)」「あの人は自分のことをわかってくれる(よき理解者になる)」「そんなあのの人に相談したい(信頼感が芽生える)」「そんなあの人の力を借りたい(信頼関係が築かれる)」といったステップで信頼関係が築かれます。

「ワイガヤ」から良い成果が生まれる
企業や職場は、社員やスタッフがチームとして協力し、一人では成し遂げられないことに取り組む場。ときにはワイワイガヤガヤと遠慮なく話し合ったり、意見がぶつかり合いドキドキハラハラしたり、そうしたやり取りの中から新しいアイデアや良い成果は生まれてくるものです。それなのにハラスメントを過度に恐れるあまり、職場のコミュニケーションが萎縮してしまったり、本来のチームの力を発揮しにくくなってしまったり。

生産性労働情報センター出版セミナー

ハラスメント防止と社内コミュニケーションセミナー

日時: 2025年9月19日(金) 13:30~16:30
講師: 波戸岡 光太 氏(弁護士・ビジネスコーチ)
会場: 日本生産性本部セミナー室 永田町駅徒歩4分
形態: 会場参加、Web配信、後日見逃し配信あり



本セミナーでは、企業の顧問弁護士として数多くのハラスメント問題に向き合う波戸岡氏が、ハラスメント防止の考え方とコミュニケーション技術について解説します。また、パワーハラスメント(パワハラ)と指導の違いについて、ケーススタディを用いて判断基準を明確にします。さらに、カスタマーハラスメントなど、パワハラ以外のハラスメントの押さえるべきポイントを紹介いたします。

詳細、お申し込みは
<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/007323.html>
lic@jpc-net.jp



QRコードからもお申し込みができます

『論破されずに話をうまくまとめる技術』

”論破”という言葉をよく聞く昨今。相手を言い負かしたり、言い負かされたり、でも本当に大切なことは、自分も相手も納得する結論にたどりつくこと。そんな思いから、先人たちの知見や現場で培ったノウハウをふんだんに盛り込み、分かりやすい言葉で解説しました。著者は、弁護士×ビジネスコーチ×交渉のプロ。相手の主張を打ち破る方法ではなく、相手に論破されることなく、より良い関係性を築きながら建設的な対話・議論をするための方法、うまく話し合いをまとめ、より良いゴールに導くための方法を一冊にまとめました。

論破されずに話をうまくまとめる技術

波戸岡 光太 著

本当に頭のいい人が準備すること

どんな難しい相手でもたどり着ける最高の結論

二分法のワナ 論点をずらされる 揚げ足をとられる... これを知っているだけで丸め込まれない

はとおか こうた 波戸岡 光太 (著) 青春出版社